

平成 28 年

第 90 号

大 鋌 協

2 月 20 日

発 行

ホームページでも
ご覧いただけます

大阪鋌螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>



長 崎 軍 艦 島

藤 澤 義 弘

- ◇「年頭所感」松井一郎 大阪府知事… 2～3
- ◇「年頭所感」増谷彰彦 理事長…………… 3
- ◇「新春互礼会 in 2016」挙行…………… 4～5
- ◇組合だより…………… 5
- ◇申年生まれ経営者アンケート…………… 6～7
- ◇委員会だより…………… 7～9
- ◇八幡 進 氏 逝去…………… 9
- ◇支部だより…………… 10～11
- ◇第 5 回 ランニング同好会…………… 11
- ◇OS会の頁…………… 12～13
(藪本裕寛、大西啓文)

目

次

- ◇随想投稿欄…………… 13～16
(瀧野将光、武田 勉、矢野裕一)
(和田垂由子、井上依彦)
- ◇FE 函面セミナー開講…………… 17
- ◇第 7 回 硬式テニス大会…………… 17
- ◇FE ジュニアセミナー開講…………… 18
- ◇平成 27 年 経営講演会 & 忘年会…………… 19
- ◇「シリーズ」私の宝物 (山根 隆)…………… 20
- ◇表紙のことば (藤澤義弘)…………… 20
- ◇今後の主な年間スケジュール…………… 21
- ◇編集後記…………… 21
- ◇協賛広告…………… 22

平成28(2016)年 知事年頭所感

大阪府知事 松 井 一 郎



新年あけましておめでとうございます。

大阪府知事として二期目の府政を担当させていただくことになりました。府民の皆様の、改革を継続し一層の成果をあげてほしいという期待と、大阪をもっと豊かにしてほしいという切実な想いを受け止め、その重責を痛切に感じております。有言実行を肝に銘じて、府政の推進に取り組んでまいります。

二期目のスタートにあたり、東西二極の一極を担う大阪の実現をめざし、“副首都・大阪”の確立を具体的なミッションとして掲げました。大阪府はもとより府内市町村や経済界とも力をあわせて、今後の4年間でその土台を築いてまいりたいと考えています。

日本は今、東京への極端な一極集中が進んでいます。首都圏での大規模災害などの危機に備え、平時から、経済中枢機能などを分散することで、災害に強い国土構造に転換するという発想が必要です。大阪は、西日本随一の都市であり、国の機関や企業等の中枢機能を担う、第二の拠点にふさわしい大きなポテンシャルがあります。平時にも非常時にも日本の未来を支え、けん引する“副首都・大阪”の確立は、国家的な要請であると言って過言ではありません。

国土軸を強化するリニア中央新幹線も、大阪が副首都となれば、東京・大阪間の早期整備は必然の要請となります。強力な国土軸と、それにつながる圏域内外とのネットワークの充実など、副首都にふさわしい交通・物流機能インフラの整備をめざしてまいります。

副首都にふさわしい統治機構のあり方についての議論も進めます。新たな大都市制度の設計図の再検討に向け、大阪市としっかりと手を携え、まずは、住民の皆様の意見を十分に伺ってまいります。並行して、二重行政の解消に向けた具体的な取り組みを進め、今から

できることは速やかに実現させていきたいと思っております。

府政運営は、直面する府政の課題に対して、引き続き、「変革と挑戦」を基本姿勢として取り組みます。スピード感を持ち、府民や民間の目線での施策立案に努めながら、「成長と安全・安心のよき循環」による豊かな大阪の実現を確たるものとしします。

大阪発の新たなビジネス、イノベーションを創出するため、国家戦略特区などを活用し、施策を展開いたします。大阪の経済成長を支え、産業育成の核となる機能の充実を図るため、府市の研究所統合による「スーパー公設試」、大学の統合、港湾管理の一元化といった統合案件は、早期に実現したいと考えています。また、交通・物流機能を強化する交通インフラの整備や、うめきた二期など、まちづくり・都市基盤整備を進めてまいります。

観光インバウンドの拡大は今が絶好のチャンスです。この機を逃さず、「国際エンターテインメント都市“OSAKA”」の実現をめざし取り組んでまいります。「大阪の観光戦略」の来阪外国人旅行者数の目標650万人を、進捗状況を踏まえて上方修正するなど、さらに高い目標を掲げて施策を推進します。あわせて、大阪の発展の起爆剤となり得る都市魅力の仕掛けづくりとして、IRの立地実現に向け、法案の動向を見据えて取り組みを行うほか、国際博覧会誘致に向けた機運醸成や取り組みを進めてまいります。

また、人口減少、超高齢社会を迎える中、府民や民間の目線も加え、府民福祉向上のための最適な手法を見出し、府民の皆様に豊かな大阪の実感をお届けしたいと思います。

女性や若者が活躍するための環境整備として、雇用促進や、子育て支援などを実施し、一人ひとりの就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する取り組みを推進します。

次の時代の大阪を担う子どもたちを育む教育も重要です。学力向上の取り組みや英語教育の充実を図るとともに、私立高校授業料の無

償化の継続など、家庭の経済的な事情に関わらず誰もが希望する教育を受けられる環境づくりにも努め、子どもたちが社会の中で生き抜いていく力をつけられるよう、教育力のさらなる向上に力を注いでまいります。

府民の皆様の暮らしの安全・安心を守る施策もさらに進めてまいります。市町村と連携しながら、健康寿命の延伸、高齢者や障がい者などすべての人々が活躍できるまちづくりなど、福祉・医療の充実を図るとともに、南海トラフ巨大地震への備えや豪雨対策など、

防災・減災の取組みの強化、治安のさらなる向上にも取り組みます。

目の前にある課題は、次の時代に先送りせず、今、解決の道筋を作ることが、私の使命であると考えています。今後とも、府庁組織のパフォーマンスをさらに向上させながら、施策を力強く推進してまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

年頭所感 一体となり、前向きに

理事長 増 谷 彰 彦



あけましておめでとうございます。

2016年の年初にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

大阪鋳螺卸商協同組合は、昨年5月より新体制になりました。スローガンである、「全員参加」

「全員行動」「全員飛躍」「全員感謝」のもと、副理事長・理事・各委員会の委員長・委員の皆様のご積極的で献身的なご努力で、順調に推移しております。深謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年前の消費税率引き上げなどによる駆け込み需要の増大や、アベノミクス、その反動がいまだに響いており、年前半と後半で業界の景気が大きく変化しました。また、年後半には円安の進行も続いており、国内景気も好不調がまだら模様となっている状態であると思われま。

大企業と中小企業での業況には、たいへんな格差が見られます。大企業の景況感が大きく改善している一方、中小企業は原材料コストの上昇などへの対応が進まず、収益悪化に苦しんでおり、景況感はほぼ横ばいになっている状態です。

昨年末の組合の講演会で、講師のネジザウルス高崎先生が、面白いことをおっしゃっていました。世界的に、日本と比較される国、

ドイツでは大企業が国の経済を引っ張っているのではなく、中小企業が頑張って外貨を稼いでいるとの事。日本では、外貨を稼いでいるのは大企業が大半を占めております。日本の企業のほとんどが中小企業なので、中小企業がドイツ同様に頑張ればどうなるか、胸が膨らむ思いもあります。

ねじ業界におきましても一部に明るさが見られますものの、中小企業が大多数を占めており、コスト転嫁や同業者間の過当競争などの問題もありますが、お客様に喜んでいただき、世の中から必要とされる会社を目指すことで、一步前進できるのではないかと感じます。

近年ねじ業界でも、スマート社会を実現するための、インターネットにつながる I o T (Internet of Things) が少しずつ本格化している社会インフラ環境が生まれつつあります。さらには、I o Tにより生まれるビッグデータの活用により事業価値をさらに高めるサービス化が求められています。

こうした状況の中、当組合でも、I Tへの貢献の取り組みを加速するとともに、人材育成、また、製販の連携も深めていく予定です。

皆様のお一層のご理解と協力をお願い致しますとともに、本年が実りある素晴らしい年となります様、お祈りいたします。

「新春互礼会 in 2016」挙行

関西ねじ協同組合 & 大阪鋌螺卸商協同組合

商工総勢355名が盛大に門出祝う

関西ねじ協同組合(中江良一理事長)と大阪鋌螺卸商協同組合(増谷彰彦理事長)が2年に一度開催する新春互礼会が1月8日、大阪市中央区の“シティプラザ大阪”にて挙行されました。近畿経済産業局や大阪府など行政および関係諸団体から来賓多数が出席、両組合から計228社・団体、総勢355名が参加して盛大に新年の門出を祝いました。

通算6回目となる両組合合同の「新春互礼会 in 2016」は、担当の大阪鋌螺卸商協同組合総務委員長の宮川勝氏(ミヤガワ金属販売)の司会進行で始まり、最初に両組合代表が登場。

関西ねじ協同組合の中江理事長は参会者への謝意とともに「去年は、経済的には当初、秋頃には回復すると思われていたが、中国経済失速の影響か一部の大企業でも業績が急落したり、コンプライアンス問題が発生したりしました。我々ねじ業界もパッとしない1年でした。しかし昨年来、政府も数々の経済刺激策を打ち出しており、今年は米国経済の回復も見込まれているようで、大阪人・関西人はいかなる時もあまり暗くならず、常に新しい何か面白いものを探し求める潜在的にポジティブな資質を持っているので、きっと近いうちに回復していくものと信じています。

当組合では過去、FCK法という表面処理における耐食試験方法の特許を取得したり、現在(一社)日本ねじ工業協会様で進めている“ねじ技能検定”、またJIS規格改正委員会の立ち上げなどに携わってきました。本年は新たに技術委員会主催で、神戸大学の教授を迎え、技術者のための“ねじの理解”というテーマで勉強会を継続的に行っていく予定です。この研修会には大鋌協の皆様にも門戸を開く計画で、その折は是非皆様のご参加をお願い致します。

昨年末、本互礼会の打ち合わせで両組合幹部が集まった時、製販の立場こそ違えど同じねじを生業とする者同士だけに、次年度から何か新しいこと、面白いことを始めようという話になりました。何が出来るかはこれから検討していきますが、互いにとって有意義なことを始めようと考えており、皆様にはご理



挨拶する中江理事長



挨拶する増谷理事長

解・ご協力を賜りたい」と挨拶されました。

このあと増谷理事長が「去年は不安な世相だったが、身の回りはとりあえず可もなく不可もない1年でした。それでもやはり様々な出会いがあり別れがありました。昨年末には大鋌協にとって多大な貢献者である(株)ヤハタの八幡進相談役様が亡くなりました。私ども若輩者にとっては偉大な良き先輩であり、何よりいらっしやるだけで心強い存在でした。この場を借りご冥福をお祈りし、お悔み申し上げます。

昨年末に発表があった“今年の漢字”には『安』が選ばれましたが、確かに去年はモラルが問われた1年でした。毎月のように陳謝する場面が映し出されたりし、日本のモノづくりへの信頼性も揺らぎました。しかし日本のねじ業界は、何百万本に1本の不良も出さない本日も参会のメーカー様がいらっしやってこそ成り立っており、こうしたねじを我々も

歳男を代表し
謝辞を述べる梅田氏

販売させていただけることは有難く誇りに思います。先ほど中江理事長も言われたように、製販力を合わせてねじ業界の発展に向け盛り上げていきたいと思えます。

関西ねじ協同組合様では様々な研修会に取り組みられているようですが、我々大鉄協の方でもFEセミナーなどを通じ組合員企業の資質向上、底上げを図っております。こうした諸活動に是非ご参加願うとともに、今後とも皆様のご理解・ご協力を賜りたい旨述べられました。

続いて来賓9氏が紹介され、代表して森下剛志氏(近畿経済産業局製造産業課)、林要一氏(大阪府商工労働部ものづくり支援課)、河津秀樹氏(大阪市経済戦略局)が、それぞれ展開する中小企業新興策を交え新年の祝辞を述べられました。

次に大鉄協の新年恒例行事である歳男(申

年)への記念品贈呈があり、該当する4名(当日出席2名)の受賞者を代表し梅田修平氏(梅田精密)が、50余年に及ぶ自らのねじ業界での歩みを振り返るとともに、今年の抱負を謝辞に込められました。

このあと関西ねじ協同組合副理事長の北井啓之氏(ケーエム精工)による乾杯の発声で杯をあげました。宴半ばでは、若手経営者で組織するK-2(代表幹事・川端康弘氏=オ・ピー・ジ)、OS会(代表幹事・大西啓文氏=大西鉄螺)の各幹事が紹介され、それぞれ自己紹介を兼ねスピーチを行いました。

参加者は和やかに賀詞交歓を行いながら交流を深める中、大阪鉄螺卸商協同組合副理事長の鈴木啓次氏(アサヒアベックス)が中締め挨拶を述べ、新春懇親会は盛況裡に散会となりました。



K-2 幹事一同



OS会幹事一同



中締め挨拶する
鈴木副理事長

組合だより

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府商工関係者表彰

三喜鉄螺株式会社
代表取締役社長 勝亦 良彰 氏
(平成28年2月)

◎大阪卸商連合会優良団体役員表彰

株式会社 ナニワネジ
常務取締役 小西 弘美 氏
(平成28年2月)

◇新社長就任

○東部支部所属
・田原株式会社
代表取締役社長 新家 喜久男 氏
(平成27年9月)

◇住所移転

○中央支部所属
・佐藤螺旋株式会社
〒535-0021 大阪市旭区清水4-13-6
電話・FAXは同様
(平成28年1月)

◇訃報

○九条支部所属
・株式会社 大和製作所
取締役会長 梶山 清三 氏
(平成27年10月25日ご逝去)

○東部支部所属
・株式会社 ヤハタ
相談役 八幡 進 氏 (当組合相談役)
(平成27年12月19日ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

～平成28年 新春企画～

申年生まれ経営者アンケート

1. ねじ業界に入られて何年になりますか？
2. ねじ業界に入られた動機は？
3. ねじ業界の将来をどう思われますか？
4. 本年の景気予測は？
5. 貴方の好きなスポーツ選手・芸能界その他の人、その理由。
6. 貴方の家族構成は？
7. 貴方の座右の銘は？
8. 貴方のご趣味は？
9. 何かスポーツをなさっていますか？
10. 何時もよくご覧になるテレビ番組は？その簡単なご講評も。
11. 旅行ブームです。昨年中にお出かけになった訪問地と、旅行の回数を教えて下さい。
12. グルメの時代は終わっても貴方の推薦のお店と、その自慢料理をご紹介下さい。
13. お正月のお休みはいかがなさいましたか？初詣・旅行・家庭サービス・それとも？
14. 特に気をつけておられる健康管理方法は？
15. 最後に、2016年に年男となる貴方の新年のご抱負を一言。

(株)梅田精密

梅 田 修 平
(昭和19年生まれ)

1. 54年。
2. 学校の推薦。
3. 良い。
4. 中国の経済の回復次第。
5. プロゴルファーの松山、野武士の様。
7. 誠実。
8. スポーツ。
9. ゴルフ。
10. スポーツ番組、NHK朝ドラ(一日の始まり)。
11. ニューヨーク、他4～5回。
14. リズムを乱さない。
15. ゴルフ、一年の平均スコア92。

(株)イケナガ

池 永 勝
(昭和19年生まれ)

1. 43年。
2. 義父の勧め。
3. 底堅い動き。
4. 予測不能。グローバルな流れに左右される。

5. 明るい人。努力する人。前向きな人。
6. 妻と子供2人。
7. (粉骨砕身!知識ではなく実行!) 有言実行!。
8. ゴルフ。謡曲。庭作り。
9. ゴルフ。
10. スポーツ中継。なんでも鑑定団。和風総本家。
12. 青葉苑(牛タン専門店)。
13. 初詣。家庭サービス。
14. 早期発見、早期治療。
15. 大きな転機を的確に捉える。

三喜鉄螺(株)

勝 亦 謙 介
(昭和55年生まれ)

1. 11年。
2. 実業であったため。
3. チャレンジする事で明るくなると思います。
4. 消費税再引き上げにより悪くなる。
5. 小島武夫(プロ雀士)。
6. 妻と子供3人。
7. 初志貫徹。
8. 読書。
9. ゴルフレッスンを受けております(月2回)。
11. 社員旅行にて福井(あわら温泉)に行きました。

12. BOSTON (昭和町本店) ハンバーグ。
13. ギックリ腰になってしまい自宅療養していました。
14. 出来る限り睡眠をとる様に心掛けています。
15. 何事においても勝る事が出来る様にとにかく行動！。



委員会だより

レベルUP

福利厚生委員長 本田 裕久

平素は福利厚生事業に多大なご協力を頂き、誠に有難うございます。今年もよろしくお願い致します。

さて福利厚生委員会では2月28日に第42回ボウリング大会、7月24日より第68回野球大会と歴史のある大会を、さらに秋の行事として定着してまいりました第8回となりますテニス大会を予定しております。

テニスは毎年レベルが上がっているようで激しいラリーも珍しくなくなりました。今年は何のチームが力をつけて優勝を目指しているのか楽しみです。

各大会、委員一丸となって準備を進めてまいります。今年も皆様のご参加をお待ちしております。

見聞き議論し、積極発言を

経営委員長 桂 知伸

新年あけましておめでとうございます。

今年は申年ですがこの年によく耳にする諺で、『見ざる聞かざる言わざる』があります。意味は諸説ありますが、個人的には本年度の経営委員会及び社長塾は色々な分野の事や人の意見などを見聞きして議論を行い、積極的に発言して行きたいと思っています。

さて、平素は経営委員会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。昨年12月4日の講演会では皆さんご存知の『ネジザウルス』の生みの親、(株)エンジニア代表取締役の高崎充弘様を講師にお招きし、モノづくり企業を活

性化する4つの秘訣についてご講演いただきました。

今後の予定は2月8日に経営委員会を開催し今後の運営について打合せを行います。

今後とも経営委員会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎えて

業務委員長 垣内 龍夫

あけましておめでとうございます。

今年の干支は申ですが、歴史上の人物で最も有名なのが豊臣秀吉です。この人物ほど申年の特徴を表している人はいないのではないのでしょうか。頭が良く、器用で適応力が高く、明るく、非常に人なつっこく目立ちたがりやである。そして、金運も持っているというようにいわれていますが、猿の愛称で呼ばれたのも納得できます。

また、申の字の横に人を付けると伸びるといふ字になります。この字の如く、業界全体が昨年以上に良くなっていくことを心より期待します。

さて、昨年度も各種共同購買、出版、保険、カーリース事業に多大なるご協力をいただき有難うございました。組合員各社様のご協力をもちまして、販売目標を達成する事ができました事をご報告するとともに、厚く御礼申し上げます。

また、本年度も各事業に対しまして、組合事務局と連携を取り、委員の皆様のご協力をいただきながら、一年を進めてまいりますので、何卒ご理解を賜り、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

電子商取引PR活動に注力

EDI委員長 由良 泰雅

平素はEDI委員会の活動にご理解賜り厚く御礼申し上げます。

当委員会では「N-コードを活用した電子商取引の普及」を目的とした活動を行っております。本年度はN-コードを二次元コード(QR)化して製品に貼り付けて頂くべく、工側へ働きかけを行って参ります。あわせて商側でもN-EDIに対応出来る参加会員の増加を目指してメリットの訴求を含めたPR活動に力を注いで参りたいと考えております。

時代の変化に伴い、他業界において電子商取引は当たり前となっており、業務効率の改善効果は周知のものとなっております。しかしながら、ねじ業界では製品及び名称の多様性が普及のハードルとなっております。当委員会では微力ながら普及の力添えとなりますよう精進して参りますので、さらなるご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

今年の活動予定

労務副委員長 大山 寛之

新年明けましておめでとうございます。日頃は何かと労務委員会の行事に御協力頂き有難うございます。今年は「申年」、これまでの頑張りが実を結ぶ年と言われております。労務委員会も先輩方の意思を継承し、梅田委員長を中心として実のある1年にしたいと思っております。

早速ですが今年の労務委員会の活動予定を報告させていただきます。この号が出ている頃には終了していますが、2月4、5日の2日間、FEセミナー加工体験コースをポリテクセンター関西様の御協力により開催します。切削加工に興味を持たれている方を中心に加工を実体験して頂きます。

又、3月4、5日の2日間FEセミナースタンダードコースを、鐵鋼会館にて昨年引き続き日本鉄螺株式会社・西川社長を講師にお招きして開催します。初日の講習後には親睦を深める為、懇親会も予定しております。

FEセミナー工場見学は6月に阪村産業様で勉強会と工場見学を実施する予定です。今回は阪村産業様の代理店会(エースナット会)と合同での開催を予定しております。

そして秋頃に、初の試みとなりますがFE検定を実施する予定で、日頃の勉強の成果を試して頂きたいと思っております。

本年も労務委員会の活動に御理解、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

組員皆様へ情報発信を目指して

広報委員長 北川 浩史

平素は広報誌「大鉄協」をご愛読頂きありがとうございます。

ご多忙にも関わらず寄稿文の提供を頂いております当組員皆様に感謝し御礼を申し上げます。

株価暴落から始まり、中東情勢、バス転落事故と年明け暗いニュースを際立って耳にしましたが、景気見通しは、オリンピック関連の設備投資、海外観光客の消費拡大、設備投資減税による生産性の向上、来年4月の消費税upの前倒し需要など、ねじ関連企業も製造産業と共に決して暗雲込めた1年でないような期待もしております。

本年も広報委員会では、組員様への情報発信と宣伝活動の為、皆様のお力添えを頂き活動して参ります。また広報誌は、代表者様だけではなく、幅広く従業員皆様も読んで頂ける事を目指し情報提供をして参ります。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

緊張の中開催された互礼会

総務委員長 宮川 勝

皆様新年あけましておめでとうございます。

総務委員と致しまして、昨年12月4日ホテルグランヴィア大阪にて忘年会を開催致し、今年は増谷新理事長の意向もあり今迄と違った忘年会を企画致しました。近年名司会の座に輝いた野島理事による司会により進行され、余興として『魔法の愛華』と言うコスプレ美

女マジシャンによるマジックショーと忘年会恒例の大ビンゴ大会を行いました。

マジックの方は壇上にて組合員協力のもとマジックショーも行い、人選についてはマジシャンに増谷理事長と竹上理事と言う最高の二名選んでもらい、壇上でかなりのパフォーマンスで盛り上げて頂きました。魔法の愛華さん並びに協力して頂いた理事長、竹上理事には本当に感謝いたします。

またビンゴゲームに関しても今までと違った商品構成をし、特等にはなんと豪華御食事券を用意し組合員皆様に盛り上がり頂きました。ビンゴ大会で特等の権利を獲得した幸運男だったのですが、なんと当日の講演会の先生を立て豪華景品にも目もくれずネジザウ

ルスを獲得し、会場には歓声が鳴りやみませんでした。この幸運の持ち主はあえて公表しませんが、マジックにも登場したあのお方で…。本当にありがとうございました。

2016年に入り関西ねじ協同組合さんとの合同で、新春互礼会を1月8日シティープラザ大阪にて総勢340人を超える人数の中開催され、又今回が大阪協の担当であり恥ずかしながら私目が総司会と言う大役を承り、何度か嘯みながらでも無事に役目を果たす事が出来ましたが、しかし緊張しましたよ…。

初委員長と言う事でまだまだ手探りですが、本年も総務委員会の行事に多数のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

八幡 進氏 ((株)ヤハタ 相談役) が逝去 大阪協元理事長、OS会初代幹事



八幡 進相談役

大阪鉄螺卸商協同組合の第7代理事長で、OS会の創設及び初代幹事を務められた八幡進氏((株)ヤハタ相談役、元社長)が、かねて病氣療養中のところ薬石効なく、昨年12月19日逝去されました。享年81歳。

八幡進氏は、創業者の初代・八幡荘太郎氏が大阪市港区で興した「八幡荘太郎商店」を足がかりに(昭和31年「八幡鉄螺(株)」に改組、社名変更)、昭和35年父・荘太郎氏の逝去に伴い弱冠26歳の若さで八幡鉄螺(株)の2代目代表取締役社長に就任され、事業を継承、平成2年に実弟・八幡公造社長にバトンタッチするまで30年の長きにわたり同社発展の礎を築き上げられました。

団体活動では大阪鉄螺卸商協同組合の“前身”である大阪鉄螺商業会時代の昭和39年、在阪ねじ商社の若手・二世経営者、幹部で組織

するOS会の初代幹事を務められるなど頭角を現し、45年に創立された大阪鉄螺卸商協同組合では理事(48～58年)、副理事長(58年～平成元年)の要職を歴任、平成元年5月からの4年間は第7代目の理事長として組合運営に尽力されました。

とりわけ理事長時代は、組合員全員が当時あった7委員会の何れかの委員として活動する“全員参加”の組合運営を提唱、相互理解による組合活動の活性化を図られました。

その後“全員…”とするスローガンは熊田常磐理事長(全員行動)、藤澤弘幸理事長(全員飛躍)、小林三洋理事長(全員感謝)として引き継がれるなど、多大な功績を残されました。

また理事長在任中の平成2年11月には「組合創立40周年式典」を盛大に挙行し、節目の慶事を成功に導かれました。

こうしたことから八幡進氏は、長年にわたる企業新興と組合運営を通じねじ流通業界の発展に尽くした功績により、平成14年の春季褒章において藍綬褒章受章の栄に浴かれています。合掌。

支部だより

幹事一同頑張ります

東部支部長 和田 正

年末年始の暖かさに馴れた体を、平年並みとは言え10度を下回る気温にふるえる日々が続いております。

東部支部では昨年7月の納涼大会に続き、10月の別府温泉への支部旅行と計画通りに行事を行いました。ただ、支部旅行においては他の日程と重なりご参加頂けなかった支部員様も少なく無く少し寂しい旅行となりました。

ご参加頂いた支部員様は別府温泉・ホテル白菊での懇親会において大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごして頂けたと思っております。また湯布院の民芸村散策では8割近くが中国・韓国からの観光客で、ここでも外国人集客のPRをしている事に改めて驚かされました。

2月は千日前のあら磯で支部の新年会となっておりますが寒さを吹き飛ばす楽しい会となる様、幹事一同頑張ります。

最後に、紙面をお借りして申し訳ございませんが、大鉄協に大変お世話になりました故・八幡進の死去に際し皆様よりたくさんのお言葉を頂戴しました事、心より御礼申し上げます。

今年も18社が連携して…

西部支部長 三木 茂晴

新年あけましておめでとうございます。

支部の皆様、組合の皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのことと存じます。平素は、西部支部の活動にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると世界ではテロに始まりテロに終わるという残酷な1年でした。本当に嫌だ！身近な大阪に目を向ければ、軽犯罪ワースト1。経済の地盤沈下が進行した1年だ

ったと思います。このままでは……。今のうちに、私利私欲にとらわれず、みんなのために関西圏一丸となって、観光・商業・工業・安全をトータル的に組みなおして立て直さねば！と考えることが多くなった今日この頃です。単なる私の独り言。失礼しました。

西部支部におきましては、グルメをキーワードに、1月の新年会と旬の季節の旅行の2大行事があります。その時によりますが、懇親ゴルフ、暑気払い納涼会もあります。

今年も18社が連携して、ねじ業界発展の為、ひいては大阪の為、行動できるよう懇親を深めて参ります。

今年もよろしく願いたします。

「騒ぐ年」を乗り切る一年に

中央支部長 小西 弘美

新年明けましておめでとうございます。

支部の皆様方におかれましては、お健やかに初春をお迎えの事と思っております。

平素は、支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。昨年は日本のみならず海外に於いても、大企業の信頼性を疑う事件が相次いだ一年で有りました。

今年も干支で言えば丙申。騒ぐとか暴れる年と聞きますが、これは全て過去の事象から来るもので、参考にはしますが、過去よりも未来を見据えた行動を起こして来ている企業が増えて来た様に感じられます。

さて今年の支部行事計画として2月初旬に新年食事会、4月は京セラ大阪ドーム野球観戦・支部総会、8月に暑気払い食事会、11月中旬に国内での一泊研修旅行等を計画しております。

何かとお忙しいと存じますが、昨年同様に支部活動へのご協力の程、宜しく願申し上げます。

明るい一年でありますように

九条支部長 馬淵 健司

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様方にはお健やかに初春をお迎えの事と存じます。平素は支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。

昨年は、相次ぐ自然災害や経済不安、多発する紛争やテロなど世界情勢が大きく揺らぐ一年であったように思います。今年に入っても世界同時株安でスタートし先行きが見えづらい一年になりそうですが、なんとか明るい年にしたいものです。

支部の活動としましては、昨年9月3日に平田様のお世話により屋形船を貸し切ったの納涼会、同月12日に恒例の九伸会ゴルフコンペを増谷様のお世話により本田支部と合同で行いました。

今後の活動としまして、3月に懇親旅行(九州)を予定しております。すでに多くの方から参加申し込みを頂いており非常に楽しみにしております。本年も支部活動にご協力とご理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に2016年が、組合員の皆様方にとつ

て素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。

新体制での活動は

本田支部長 大喜多 正己

日頃は本田支部の運営にご協力いただき、ありがとうございます。

昨年10月に予定していた行事は、諸般の事情からいったん見送りとなりました。ということで、3月の支部旅行が新体制での最初の行事となります。間が空いてしまい、支部の皆さんは寂しい思いされていたのではないのでしょうか。誠に申し訳なく思っています。

支部旅行は3月の12~13日、姫路から湯郷温泉、赤穂を巡る旅を計画しています。今回は比較的近場で楽しみ、来年度はまた違った趣向にできればと思っています。続けて3月下旬にはタイガース観戦@大阪ドーム、年度が明けて5月には支部総会と、皆で顔を合わせる機会が増えてくる、楽しい時期がやってきます。

今後とも、どうか宜しくお願い申し上げます。

中之島一帯でペース走・1kmダッシュ

第5回 ランニング同好会ひらく

増谷彰彦理事長が世話人を務める『第5回大鉾協ランニング同好会』が昨年11月28日、大阪市内北区の中之島公園一帯で開催されました。

当日は7社から計14名が参加、今回もスポーツ用品メーカー・ミズノの協力により、秋晴れの好天のもと颯爽とランニング、清々しい汗を流しました。

午前8時30分、淀屋橋のミズノに集合し、地下1階のロッカーで着替えを済ませた参加者は、各々ニックネーム付きのゼッケンをつけてもらい和気藹々とスタート。今回も初級(約6km)と中級(約10km)にメニューを分け、ランニングシューズの履き方やフォームの矯正、基本的なストレッチなどに加え、ペース

走・1kmダッシュ・お馴染みのビルトアップ走といったメニューをこなしました。

このほかインストラクターから、走り方のもとより、効果的なストレッチ方法、長く早く走ることが出来るためのトレーニング法など様々なランニングに関する相談にも乗ってもらうなど、参加者は土曜の午前のひと時、ランニングを楽しみました。



OS会の頁

同窓会

ヤブモト工業(株)
藪本 裕 寛

今年OS会幹事を務めさせていただくヤブモト工業(株)の藪本裕寛(やすのり)と申します。今年一年お役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

昨年末に20年来となる中学校の同窓会に出席してきました。地元を離れて18年、今でも付き合いのある中学時代の友人はおらず、自分の記憶もどの程度残っているのかといった不安や、スケジュールの都合上それだけで東京～奈良間を日帰り往復するのも大変だな、などと考えながら直前まで悩んでいたのですが、このような機会はめったにないので参加することにしました。

参加してみたらそのような不安は全くの杞憂に終わり、友人に会う度にいろいろな記憶が蘇り、その後の意外な人生に一喜一憂してみたり、なかには同じ業界で働いている仲間がいたり、今まで付き合いが途絶えていたことを感じさせないような大変楽しい時間となりました。また開催以後もSNS上でのやり取りを続けたり、後日少人数での突発的な同窓会が開催されたりと、非常に有意義な一日となりました。やはり幼い時期に共に勉学に励み遊んだ仲間というのは時間が経っても簡単には関係が途絶えないものだなということを実感しました。

私がOS会に入会してから4年が経過しました。あまり頻繁には参加できておりませんが、参加するたびに「わざわざ東京から」などと言われながら参加しております。さらに今年は幹事まで務めさせて頂くことになりました。学んだり遊んだり、どちらかという遊びの方に注目が集まる事が多い会ではありますが、そうやって若い時期からお互い刺激しあい、表裏無く楽しい付き合いをしておくことが今後の人間関係、しいては当業界の将来に良い影響を与えるものと確信しております。

後継者不足と言われる現在において、OS

会も同様に会員数の減少に直面しております。今後、当業界に業界再編が起こるかどうかは分かりませんが、これまでこの業界はたくさんの小さな会社がともに助け合うことで上手く成り立ってきたものであると認識しております。

共に当業界の将来を築いていけたらと思っておりますので、興味をお持ちの方は是非入会頂けるようお願い申し上げます。

穏やかな年に

大西鉄螺(株)
大 西 啓 文

新しい年になり思うことがある。

あの未曾有の東日本大震災から5度目の新年を迎えたが2年前に慰安旅行で行った福島を思い出す。バスで通った人の居ない飯館村の異様な光景。黒い数えきれない程の除染袋の山。あの日が無ければ何気ない日常が送られていたと思う。

南相馬の「小高駅」にはあの時通勤、通学で通った人達のたくさんの自転車がその時のまま時間と共に止められていた。バスガイドさんの話では走っていた国道から海岸線までは3キロ以上あるのに、この国道まで津波が到達したと。この国道で津波が止まったのです。実際、海岸線側は田んぼが塩水に浸かり荒れ放題なのに対し、山側は稲が青々としていた。

その他色々な悲惨な状態を目の当たりにし、どこか遠くの異国での出来事のように感じていた自分が恥ずかしく思えた。

5年目の被災地では、復興が進んだとされる風景が増えたという一方で、なお18万2千人が仮設住宅で不自由な暮らしを続けているという。大震災を前に人間は無力なものであると思う。

しかしこんな記事も見た。一昨年に長野県北部で起きた地震では震度6弱の大きなものだったが1人の犠牲者も出さなかったという。制服を着た人たちの活躍はもちろん、普段着

のたくさんヒーロー、ヒロインがいたわけである。

何気ない当たり前の日々を大切に、何が起

きても、そのたびにお互いが助け合う。そんな気持ちでこの先も過ごしていけたらと思う。

今年1年が穏やかな年になりますように。

随 想 投 稿 欄

野球人生は終わらない

(株)ホシック

瀧野 将 光

私が小学生のころ(すみません40年も前です)野球は最も人気のあるスポーツだった。友達との会話も野球ネタが多く、授業が終わると猛ダッシュで公園に行き毎日暗くなるまで庭球野球を楽しんだ。今は、がらんとした公園でも当時は庭球野球を行う子どもたちの声で活気に溢れていた。

在阪のプロ野球球団は、阪神タイガース・南海ホークス・近鉄バファローズ・阪急ブレーブスと4チームも存在し、大の野球好きな父親と一緒に多くの試合を観戦した。このような環境で私はどんどん野球が好きになり、小学3年生のとき自分の意志でソフトボールチームに入部した。

中学時代は軟式野球、高校時代は硬式野球、大学時代は野球部に入らず、父が所属する草野球チームに入部した。草野球チームでは、私がピッチャーで父がキャッチャーの親子バッテリーで全国大会に出場し、母と弟はスタンドから大声援を送ってくれた。この草野球チームは今も存続し、私の父と私、そして私の息子と親子3代所属している。

私にとって野球は家族の絆が深まり、数えきれないほどの先輩・後輩・友人が出来た。2000年には親しい先輩から「少年野球の指導をしてくれないか？」と声をかけられ、指導経験が無かった私は自信が無く断ったのだが、御世話になった先輩の強い要望に負け、受けることになった。小学生は体力差や技術習得力の差だけではなく理解力や吸収力・表現力も様々なので、どのように指導すれば良いの

か悩まされました。

そして指導しながら気づいたことですが、子ども達と同じ目線で指導し、困ったとき気軽に相談できる環境を作ってあげることが大切です。そして良いチームワークを作るためのサポートをしてあげることが大切です。選手だけでなく監督・コーチ・保護者の全てがひとつになれば、相乗効果が最大化され選手も普段以上の力を発揮してくれます。

これは職場の環境づくりにも同じことが言えるかもしれません。

一生懸命指導して15年、卒部生たちは今も元気よく挨拶してくれます。

また去年は、市の子ども育成協議会様から永年指導の感謝状を頂くことができました。野球を続けていて本当に良かったと思えるこのひと時がたまりません。今年は少年野球のコーチ・草野球チームの選手兼監督・草野球連盟の理事を兼任することになりました。

自分の中心は野球で40年経っても全く変わらない。今も大好きな野球！私の野球人生は、まだまだ終わらない！

もしも“がん”になったら

(株)三晃商店

武 田 勉

今最も気になる病気は、がんではないでしょうか。二人に一人はがんになり、三人に一人はがんで死ぬという時代です。

がんはこの様に現在ではありふれた病気なのですが、原因や治療法など未だわからないことがいっぱいあります。

私は直腸がんを患いました。「これはただ事

ではないぞ」という自覚症状があり病院に駆け込みました。宣告されたあと数日間は身の不運を嘆き、何かの間違いでないのかと疑い、激しい怒りが沸き上がりイライラした日々を過ごしたのを覚えています。

一口にがんと言っても、種類は多く、出来ている場所、性質、進展具合によって、治療の方法は変わります。ご存知の様に、西洋医学では手術・放射線・抗がん剤の三大療法で対応します。最近ではそれに加えて代替療法も数多くあります。がん患者の方々は何かしら自身で情報を集め、いろんな代替療法を取り入れているのを多く見受けられます。

私も外科手術を受けた後、退院してから抗がん剤治療を受けました。その間、食事は進まず、身体はだるくて無気力になりました。

『こんな生活を送っていたらもう元気がないのではないか』と思いました。ネットで情報検索し、関係書籍を買い集め、図書館に通い、術後の日々の暮らしの中で自分はどうするべきなのかを探しました。

そんな中で私はある考え方を学びました。がんはとても恐ろしいもの、悪いもの、排除すべきもの、敵だと考えられています。しかし、もっと広い立場で考えると、自分に宿ったがんに対して違った見方が出来ます。

- ・病になった意味を考える。
- ・自分が治癒の中心になる。
- ・自然治癒力を癒しの原点に置く。

私たちの身体を作っている細胞はどんどん入れ替わっていますが、その時に異常な細胞が発生します。ただそのようなミスコピーされた細胞は、ふつうは自己免疫システムにより駆逐されます。しかし、このような免疫による防衛機構をすり抜けて増えてしまったのががんになるのだそうです。

ですから免疫力が低下すると、がんが発生する可能性が高くなると言われています。

心が生き生きとしており、よく笑っていると、がんの進行が遅くなる。逆に生きる目標が無くなり絶望すると、進行は速くなると言われています。

最近では、心の状態が免疫力に影響を与え

ることもわかってきました。イライラ、抑うつといった心の状態では、その人の免疫力は低下するそうです。

私は自分自身の免疫力を強くすることで再発や転移の予防をしようと考えました。生活習慣を見直し食生活を少し変えました。

自分に降りかかった病の意味を考え納得しました。自分の人生についても考えました。自分を客観的に見る術も覚えめました。またこういう学びを通じてとても大勢の方々と知り合いになり、教を乞うことが出来ました。

今年、手術後8年目を迎えます。今のところ日々健康に過ごしております。そして、皆さんには信じられないでしょうが、この病気になって良かったとさえ思う様になりました。

皆様には、心と身体のバランスをしっかり維持されて自己免疫力を上げ、日々健康に過ごされます様にと願っております。

最後まで読んでいただきありがとうございました。なお、私の所属するホリスティック医学協会愛場庸雅医学博士の文章を一部引用させていただきました。

私のヨットライフ

(株)ナニワネジ

矢野 裕 一

今回で3回目の投稿になりますが、またまたヨットをテーマに書かせていただきます。

現在、私が所属していますヨットクラブでは、毎年5月のゴールデンウィークに関西空港を1周するヨットレースを主催しています。

今年は、既に5月3日～4日の開催と決まりその準備を進めています。今年で6年目を迎えますが、80隻を超える参加艇数と参加者も500名を超えるビッグレースとなっています。

私自身は、このレースに一度も参加した事が無いのですが、今年は是非とも参加したいと思い、セール(帆)を新調したりシート(ロープ)を交換したりと、レース参加に向けた準備を進めています。

しかし、いざ自分が出場するとなれば、一緒にヨットに乗ってくれる仲間が必要なのです

が、GWはクルージングに忙しいらしく、思う様にクルーが集まりません。レースに出場して良い成績を目指すとなれば、私のヨット(全長約8m)でも、最低5名のクルーは欲しいところです。

しかし、どうも嫁さんと二人でのエントリーとなりそうなので、「参加する事に意義があるのだ!」と自分を納得させ、夫婦二人で「ノンビリ?」レースを楽しみたいと考えています。(レースをノンビリって変ですが)

嫁さんとは、若いころ(30年以上前)琵琶湖でディンギー(二人乗りの小型ヨット)に乗ってレースにも出場していましたが、今では専らヨットでの宴会や近場クルージングにしか付合って貰えません。

そんな嫁さんを如何に説得するかが、いまの私の最大の課題となっています。

ヨットに夫婦で乗っている方は結構いらっしゃるのです。例えば、私が係留しているハーバーでも海外から毎年数艇のヨットが立寄りますが、夫婦二人で太平洋を渡って来られる方が沢山おられます。しかし、そんな外国のことを幾ら言っても仕方がありませんから、今は、事ある毎に「あの手この手」で、嫁さんを口説いています。

嫁さんも私も還暦を過ぎてはいますが、年齢に関係なく自分達のライフスタイルに合わせた乗り方をすれば、何時まででもヨットは楽しめる乗り物だと思っています。

無理をせず安全を第一に考え、「嫁さん」のご機嫌をとりながら、これからも夫婦二人でヨットと長く付合って行けたらと思い、ヨットライフを楽しんでいます。

母の着物

太陽ファスナー(株)

和田 亜由子

数年前、着付け教室に通う友人に『着物パーティー』へ誘われました。

そこでは着物愛好家が集まり、自分の好きな着物を着て、着物について熱く語り合い、ステージでは着付けのショーが行われていました。

着物の世界では、季節や場所によって着ていくものが異なっていたり、結婚後は振袖を着てはいけないなど、様々な礼儀作法があります。

そのため、私のような素人や今の若い世代の人達は着物を身近に感じることはないでしょう。しかし、ここではそういった礼儀や常識はなく、好きな着物を自分らしく着ることを教えられました。

『大切なのは着物に触れること』

お年を召した方々が振袖を着ていたり、キャラクターの絵が入った着物を着ている方がいたり、皆さんすごく素敵に着こなしていらっしゃいました。

世界には様々な民族衣装がありますが、後姿まで美しいのは、日本の着物だけだと言われていました。日本人のきめ細かな性格がこの民族衣装にも出ているのだなと感心しました。

前途の通り、私は着物に関しては全くの素人で、このパーティーに参加するまで、着物に触れ合うことなく過ごしてきたと思っていました。

しかし、思い返せば私の母の仕事は『着物の仕立て屋』だったのです。母の手伝いで、絵柄が合っているのかバランスを見るために、よく着せられていたことを思い出しました。幼いころ、高価な反物が置いてある仕事部屋に入るとよく怒られていましたが、その切れ端でリカちゃん人形の着物や服を作ってもらい、よく友人に自慢したものです。

七五三の着物。夏の浴衣。成人式の振袖。全て母の手作りでした。

この時初めて気付きました。

私のまわりには幼いころから身近に着物があり、その着物とふれあいながら育ってきたことを。

もちろん、このパーティーで着ていったのも母が若い頃に仕立てたものでした。

30年以上も前の着物でしたが、すごく可愛くて、すぐに気に入りました。

白地に鮮やかなオレンジ色や白色の花模様。この柄は若いうちにしか着られないらしく、母は1度しか着ていないというのです。

私は、母の仕立ての技術は受け継ぐことができませんでした。しかし、母の着物を受け継ぐことはできます。

将来子供ができた時には、必ずこの着物を着せたいと思います。

決して高価な着物ではありませんが、母が作った世界に一つだけの着物。自分の子供だけでなく、その先も代々受け継がれていくことを願います。

便利が不便？

(株)ヤハタ

井 上 依 彦

電車で移動する機会が、偶にあります。もっぱら自転車通勤なので…。

暫く前から、ほとんどの人がスマートフォンを操作する光景を目にします。案外年齢に関係なく、幅広い年齢層。

その昔は、学生はマンガのイメージ、大人は単行本を読んでいる光景だったように記憶しています。

いずれにしても、寡黙？な部分では、持っている「物」が変わっただけなのでしょう？ある意味、スマートフォンは外部とのコミュニケーションを行っている事も少なくなく、内容は、逆に異なるかもしれません。

携帯電話『便利だな～』と思ったことの内容として

- ・いつでも、連絡がとりあえること
- ・どこにいても連絡がとりあえること
- ・すぐに連絡がとれること
- ・急ぎ（緊急時）に連絡がとれること
- ・待ち合わせ（外出）の時
- ・その他として、今はあまり見かけなくなった。公衆電話を探さなくてもよい、タイムリーな情報がすぐわかる、暇がつぶせると言った意見が多いようです。

逆に携帯電話『不便だな～』と思ったこととしては

- ・どこにいても連絡がきてしまう
- ・圏外（ビル・地下）に入ってしまった時
- ・充電切れの時（最近電池切れが早い）
- ・いたずら、勧誘電話（迷惑メール等）が多い
- ・時間（夜中・休日）に関係なくかかってくる
- ・その他、行動を監視されているよう、出られない時（会議中・病院・運転中）にもかかってくる

る、等々、便利さと不便は紙一重のようです。

さらに便利と言えば、24時間365日営業しているコンビニがそこらじゅうにある。

毎日時間通りにやってくる電車やバスがある（偶に遅れますが）。

宅急便の不在者届に書かれた携帯番号に電話をすれば、すぐに配達してくれる。

今の時期、年賀状もスマホひとつで簡単に作ってしまう。

これほど便利な国は他にないのではないのでしょうか

海外から来た人も日本の便利さに驚く事は少なくなく、逆に、海外では日本ではありえないような不便なことが日常。

例えば、時間になっても電車やバスが来なかったり、届くはずの宅急便がトラブルで遅れて届くことも日常茶飯事の出来事のように。24時間365日営業しているコンビニはそうそうないだろう。

これらは、普段生活していると中々気づかない「当たり前」の事として認識されている。

最近、人の電話番号は殆ど覚えていない。何故なら携帯電話に全て登録されているからである。

だから携帯を忘れた時などは厄介である。

偶々、手帳等を書いてあって番号が判っても、どうしようもないのだが…。

それらを失って初めて持っていたものの利便性に気が付く、失くして初めて「ある」に気が付き、それがどんなに日々の暮らしを快適にしてくれていたかと気づく事になる。

当然便利は、不便よりはずっといい。しかし、本当に「便利」だけでいいのか？

便利になりすぎているからこそ、それが当たり前になっているからこそ、気が付かない（気づかなくなった）日常生活のありがたみ。

私たちは、便利さに甘やかされすぎているのかもしれない。ゆったりとした心や人とのふれあい、ものへの愛着といった決して忘れてはならないものがある事に。

時には、不便さを感じる必要があるのではないか？「便利になればなるほどいい」とは本当に言えるのか、便利なら何でも良いのか、私はそうは思わない。

FE 図面セミナー開催 労務委員会 15社から20名が参加

労務委員会(梅田真吾委員長)主催によるFEセミナー“第22回図面の見方・描き方コース”が昨年10月2～3日の2日間、東大阪市の大阪府立東大阪高等職業技術専門校で開かれ、組合員企業15社から20名が受講しました。

当日は午前9時から、同校の森田誠・テクノ推進班総括主査による施設利用上の注意事項説明などに続き、梅田委員長が自己紹介とともに「我々が扱っているボルト・ナット・座金は全て何らかの規格に基づいて作られており、標準品に関しては図面が無くても仕事はできます。ただ、何かトラブルになった時には必ず

図面なり規格と、どこに違いがあるのか検証する必要があります。もとより別作品については、図面は不可欠の存在であり、本講



挨拶する梅田委員長(立ち姿)



森講師

座では基礎的な部分だけですが、図面を通じ様々な情報をもれなく汲み取れるよう勉強していただきたい」旨開講挨拶を述べました。

このあと担当講師の森由利子氏による講義に移りました。図面の見方・描き方コースは、所定のカリキュラムに従って講習が行われるもので、2日間全15時間の出席履修者には同校から修了書が授与されます。

講座内容は、JIS B0001機械製図に則り、図面の大きさ及び様式や尺度など図面の見方や考え方の基本講義に始まり、午後からはドラフター(製図台)を使った実習により、三面図で表されている図形からその実体を具体的に想像、判断でき、かつ実体から三面図に直せることなど実務に活用出来る内容となっています。

ミヤガワ金属販売Bチームが優勝

福利厚生委員会 第7回硬式テニス大会

福利厚生委員会(本田裕久委員長)は昨年12月13日、「第7回硬式テニス大会」を大阪市此花区のシーサイドテニスガーデン舞洲において開催、当日は10チーム計53名が出場し、ミヤガワ金属販売Bチームが見事優勝を飾りました。

同大会は2008年から始まり今回で7回目。当初は昨年11月に開かれる予定でしたが雨天のため順延、ひと月遅れての開催となりました。幸い、当日は好天に恵まれ、参加者は暖かい冬の日差しが降り注ぐなか、テニスを楽しみました。

試合は大鉄協組合員・従業員とその家族を参加対象とし、予選リーグ、決勝トーナメントともにダブルスの団体戦形式で試合が行われました。優勝に輝いたのはミヤガワ

金属販売Bチーム。準優勝は同じくミヤガワ金属販売Aチームでした。

入賞チームは表彰式にて健闘を称えられ、本田委員長より表彰状とトロフィー、記念品が手渡されました。出場チームは以下の通り。

池田金属工業、サンコーインダストリー(2チーム)、サンワ・アイ、谷川精螺、テクノアソシエ(2チーム)、ミヤガワ金属販売(2チーム)、連合チーム(コノエ、コボリ、第一ボルト、竹上鉄螺、野島製作所)



参加者による記念撮影



優勝した
ミヤガワ金属販売Bチーム

FEジュニアセミナー開講

労務委員会 27社から55名が参加



挨拶する増谷理事長

労務委員会（梅田真吾委員長）企画・運営による第4回「FE JR（ジュニア）セミナー」が昨年11月13日、中央区の鐵鋼会館にて開催されました。当日は榎本隆之会長（㈱三和鉄螺製作所）や榎本宏志社長

（同）らが講師を務め、27社から55名の社員が受講しました。

開講式には増谷理事長をはじめ担当の労務委員会（梅田真吾委員長）メンバーほか、㈱三和鉄螺製作所から榎本会長・社長など8名の各専門分野のスタッフが出席。梅田委員長による開講の辞、増谷理事長の挨拶、注意事項説明を挟み講義の順で進められました。

増谷理事長は挨拶のなかで、関係者への御礼の言葉とともに「“ねじ”は非常に奥深い。私は家業がねじ屋だったので、ねじに携わること30年ほどになりますが、皆さんも今後関わる度にその奥深さを経験されると思います。本セミナーは、メーカー関係者の方々から直接ねじ作りの基本を教えていただく得がたい機会であり、1日という短い間ながら有意義に学習していただき、明日からの仕事にお役立て願いたい」旨励ましの言葉を述べました。

この後、大山寛之労務副委員長の注意事項説明を挟み研修に入りました。1限目の榎本会長は自己紹介や会社紹介に続き、『ねじの歴史と現在の状況』を担当されました。

㈱三和鉄螺製作所（本社・東大阪市）は、本社工場・水走工場・UI工場と同市内に3カ所の製造拠点を持ち、各種圧造・切削・プレスによる長尺ボルト・Uボルトほか、特殊サイズおよび形状ねじの受注生産業務を担っています。直近では自動車関連需要の深耕に向け、UI工



榎本隆之会長

場に圧造能力250トンの7段フォーマーを据えたばかりです。

ねじの歴史では、その起源から日本への伝来、ねじ産業の黎明期、戦後の歩み、現状の課題としてのJIS規格改正対応問題にまで言及、随所にVTR画像などを交え詳述しました。



榎本宏志社長

2限目は榎本社長が『ねじ入門』を担当。自ら入社時に疑問に感じた“W1/4-20×50”というサイズ表記から、

インチ・分数の捉え方、メートルねじやユニファイねじなど様々なねじの規格とそれらの使用例、各々のねじの働き、ねじの種類などについて判り易く解説しました。

昼食を挟み午後からは、『ねじの基礎（材料・圧造）』『ねじの基礎（切削・転造）』『ねじの基礎（熱処理・メッキ）』と、同社の専門スタッフが担当分野ごとに、図や写真を採り入れ理解し易いよう工夫されたテキストなどを用いて学習しました。

そして質疑応答、アンケート記入を経てセミナーは閉講となりました。



セミナーの様

知財管理戦略について学ぶ 年末恒例の経営講演会&忘年会開催



講演する高崎社長

年末恒例の経営講演会ならびに忘年会が、昨年12月4日、大阪駅前の“ホテルグランヴィア大阪”にて開催されました。当日は、作業工具メーカーの(株)エンジニアの高崎充弘社長による知

財管理戦略に関する講演の後、忘年会ではマジックショーやビンゴゲームなどを交え、86名の参加者は和やかに行く年を送りました。

第1部の講演会は経営委員会(桂知伸委員長)の企画・運営により、増谷理事長による開会の辞に続き、『モノづくり企業を活性化する4つの秘訣～ネジザウルスGTの開発から得られた“MPDP”』をテーマに、高崎充弘社長の話を約1時間半にわたり聴講しました。同氏は、シリーズ累計売上げ250万丁を誇るネジ外し工具“ネジザウルス”の開発で知られる東大阪の中小企業の“名物社長”。大鉄協では“社長塾”で講演もされています。

高崎氏は冒頭、自己紹介や作業工具メーカーとしての概要説明を行うなかで一連のネジザウルス・シリーズ開発の経緯について述べました。製品に付けたユーザーアンケート葉書の回答から“問題点”を洗い出し、上位5点に絞って一つひとつ課題を克服するなど真摯なモノづくり姿勢から誕生、平成21年に市場投入された同GTでは従来製品の普及活動に対する反省もあり「マーケティング」「プロモーション」「デザイン」「パテント」の重要性を掲げ、独自の“MPDP”理論を提唱、結果ヒット商品に育て上げました。

講演では中小・ベンチャー企業と大企業の“MPDP”各項目における比較を通じ、中小と言えど知財を事業に活か



講演会の模様

すことが必要であり、“MPDP”こそがモノづくり立国・日本の生きる道としました。デザインやパテント面での知財戦略は海外にも及び、これらを管理する国家資格「知的財産管理技能検定」の有資格者は、高崎社長はじめ従業員30名中半数を擁しています。革新的な技術・サービスも、それらを経営に活かすのは結局“人”であり、今後も社内外問わず“MPDP”理論の展開を推進していく旨結びました。講演会は質疑応答を経て、中上真一副理事長による謝辞で終了しました。

引き続いての忘年会は野島淳総務委員の司会・進行により、増谷理事長が参会御礼ならびに日頃の組合運営への協力に謝意を表するとともに要旨次の通り挨拶しました。

「商社を中心に組織する大鉄協の組合員のなかにも、近年は加工部門に踏み出すなど時代に即応した形で展開されているところが増えています。来年の新年互礼会は関西ねじ協同組合様との共催でもあり、先の打ち合わせでも何か他に福利厚生事業や講演会など“商工合同企画”行事が出来ないものか、と考えています。

大鉄協は従来“全員参加”“全員行動”“全員飛躍”“全員感謝”をスローガンに掲げてきましたが、皆様のご協力により順調に運営されています。今後とも組合活動へのご支援・ご協力をお願いするとともに、本日は1年締め括りの忘年会であり、暫し皆様には楽しい一刻をお過ごしいただきたい」。

このあと小林三洋相談役・理事による乾杯の発声から開宴。女性マジシャンによるマジックショーや豪華景品が当たるビンゴゲーム抽選会も行われ、出席者は和やかに歓談の一刻を過ごしました。そして午後8時半過ぎ鈴木啓次副理事長による“大阪締め”で忘年会が終了しました。

忘年会で挨拶する
増谷理事長

シリーズ 私の宝物

「ナイジェリアの思い出」

(株) ナニワネジ
山 根

隆

私の20代～30代前半は横浜市鶴見区に住み、関東中心の硝子メーカーでプラントの据付やガラス溶解炉の構築に携わっていました。

32歳の夏(35年前)、ナイジェリアに英国と日本の合弁企業の製塩プラントの据付指導に行くことになり渡航しました。南廻りのフライトは現地まで34時間も機内です。台湾・バンコク・ギリシャ・フランクフルトを經由したと記憶しています。

ラゴスに到着したのは夜中でした。荷物を受け取るためにロビーで待機する間、何度も停電があり暗闇の中、異国語が飛び交うなか不安を感じていると、パッと明るくなって仰天! コンベアで送られた荷物がロビーの真中に積み上がっています。中には(気の毒にも)口を開けて中身が出てしまった荷物もあり、その山の中から自分の荷物を探していると又停電! 散々な入国風景でした。

スーパーバイザーとしての仕事は、現地のスタッフによるプラントの組立作業の監督や安全管理と思いきや、自らが率先して肉体労働を提供しなければ帰国の時期が不明となるような状況でした。

キツイ仕事の合間で毎週招待されるビッグマン宅のパーティーや休日の現地スタッフとの海水浴は良い思い出になっています。

宿舍の周囲を散歩していますと近所の子供たちが木製の箱を置き、上に缶詰や菓子類を並べて商売しています。女の子たちは互いの

ヘアスタイルを整えています。上手に三つ編みして近年よく見かける簾のようなアフロヘアをカッコいいと感じていました。10歳に満たない子供たちが自分の力で生活費を稼ぐ姿を傍らで幼児たちがリアルに体験中、そんな風景を多く認めました。

市内には立派なビルが立ち並んでいて舗装された道路は立派でしたが、デパートの上層から眺めると周囲はバナナの葉でできた家? 当時は外国からトタンやコンクリートブロックが輸入されたばかりで、未だ普及以前の様相でした。

近年のナイジェリアは、サッカーチームの活躍や芸能人に人気者が表れて、マスコミに載る機会が増えたことを嬉しく感じています。しかし、一方では国情の不安定さによる事件報道で悲しくなることも多くあります。

ともあれ、世界に平和が訪れんことを祈るばかりです。



表紙のことば

長崎 軍艦島

(株)コムウエル・フジサワ
藤 澤 義 弘

2015年10月中旬、快晴の長崎・軍艦島です。
気候・波の条件により、出航や軍艦島に接岸が出来ない・しない場合があります。
人によっては、3回目のトライでもダメだった方も居るようですが、私は幸運な事に快晴で、

穏やか。人生初で、初上陸が出来ました。

添付の写真は、上陸前の船着き場のスタッフとの記念ショットです。メール交換しました。

未だ接岸出来ません。



今後の主な年間スケジュール

2016.2

日 時				行 事 (予 定)	場 所
2	19	金		広報誌(90号)発行	セントレジスホテル大阪 セントレジスホテル大阪 ポウルインクス
	19	金	14:30	三役会	
	19	金	16:00	理事会/役員懇親会	
	28	日	10:00	第42回ポウリング大会	
3	4~5		9:00	第29回 FEセミナー (Stコース)	鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館
	9	水	13:30	三役会	
	9	水	15:00	理事会	
4	20	水	11:30	三役会	鉄鋼会館 鉄鋼会館
	20	水	14:00	理事会	
5	20	金	14:00	通常総会	ヴィアーレ大阪
6	8	水	13:30	三役会	鉄鋼会館 鉄鋼会館 未定
	8	水	15:00	理事会	
	未定			第68回野球大会 キャプテン会議	
7	24	日	9:00	第68回野球大会(1~2回戦)	村田機械(神足球场) 村田機械(神足球场) (8月回収)
	31	日	9:00	第68回野球大会(2~3回戦) ねじ流通商社経営実態調査票、組合員に配布	
9	4	日	9:00	第68回野球大会(準決勝・決勝他)	太陽ヶ丘球場(宇治市) 鉄鋼会館 鉄鋼会館
	14	水	13:30	三役会	
	14	水	15:00	理事会	
	20	火		広報誌(91号)発行	
10	未定		9:00	第23回 FEセミナー(図面の見方・描き方)	テクノセンター東大阪 未定
	未定		9:00	第8回 テニス大会	
11	9	水	13:30	三役会	鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館
	9	水	15:00	理事会	
	未定		9:00	第5回 FEセミナー (Jrコース)	
12	2	金	16:30	講演会	セントレジスホテル大阪 セントレジスホテル大阪
	2	金	18:30	忘年会	
2017 1	13	金	10:00	新年互礼会	ヴィアーレ大阪

*3月以降は予定です。

編 集 後 記

2015年-16年の冬は「暖冬」という言葉をよく耳にしましたが、意外にその意味は穏やかでなく、気温の高い日が続いたかと思うと、いきなり急降下して厳寒の気温になる、ということを繰り返す事を意味する様です。健康管理の難しい季節、体調を万全に乗り切りたいものです。

寄稿頂いた皆さんには心より御礼申し上げます。本当に有難う御座いました。

(勝亦 謙介)

発行所

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄鋼卸商協同組合

電話 (06) 6271-4550

印刷所

〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5

株式会社 ベン・アート

電話 (06) 6973-3338

大阪鋌螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鋌螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご利用ください。

取扱商品



生命保険

医療・がん・傷害保険

自動車保険

超保険
超ビジネス保険

火災保険

賠償責任保険



* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

大阪鋌螺卸商協同組合

〒542-0081 大阪府中央区南船場2-6-10

ツチビル

担当：中西

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店 株式会社東海日動パートナーズかんさい

TEL 06-6649-6727

大阪南支店 担当：井上

FAX 06-6649-6715

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1-6-8 一栄ビル4F

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

大阪南支店 直轄S

TEL 06-6203-0821